

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2023年9月29日

【四半期会計期間】 第73期第2四半期(自 2023年5月21日 至 2023年8月20日)

【会社名】 株式会社セキチュー

【英訳名】 SEKICHU CO.,LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 関 口 忠 弘

【本店の所在の場所】 群馬県高崎市倉賀野町4531番地1

【電話番号】 027(345)1111(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役執行役員管理部長 霜 鳥 守 雅

【最寄りの連絡場所】 群馬県高崎市倉賀野町4531番地1

【電話番号】 027(345)1111(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役執行役員管理部長 霜 鳥 守 雅

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第72期 第2四半期累計期間	第73期 第2四半期累計期間	第72期
会計期間	自 2022年2月21日 至 2022年8月20日	自 2023年2月21日 至 2023年8月20日	自 2022年2月21日 至 2023年2月20日
営業収益 (千円)	15,557,068	15,391,192	30,943,970
経常利益 (千円)	793,251	639,090	807,442
四半期(当期)純利益 (千円)	528,061	441,708	477,603
持分法を適用した場合の投資利益 (千円)	—	—	—
資本金 (千円)	2,921,525	2,921,525	2,921,525
発行済株式総数 (株)	5,586,150	5,586,150	5,586,150
純資産額 (千円)	10,701,113	10,967,559	10,648,136
総資産額 (千円)	18,645,721	19,058,487	18,489,054
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	98.04	82.01	88.67
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益 (円)	—	—	—
1株当たり配当額 (円)	—	—	30
自己資本比率 (%)	57.4	57.5	57.6
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	442,433	351,427	107,689
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	112,282	17,347	320,451
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	446,594	161,067	46,707
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (千円)	996,213	1,060,894	853,187

回次	第72期 第2四半期会計期間	第73期 第2四半期会計期間
会計期間	自 2022年5月21日 至 2022年8月20日	自 2023年5月21日 至 2023年8月20日
1株当たり四半期純利益 (円)	47.07	31.93

(注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりませんので、連結財務諸表に係る主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2 営業収益は、「売上高」と「不動産賃貸収入」を合計しております。

3 持分法を適用した場合の投資利益は、関連会社が存在しないため記載しておりません。

4 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益は、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

5 第72期の1株当たり配当額には、特別配当10円00銭を含んでおります。

2 【事業の内容】

当第2四半期累計期間において、当社が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第2四半期累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において当社が判断したものであります。

(1) 経営成績の状況

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による制限が緩和され、社会経済活動正常化が進みました。一方で長期化するウクライナ情勢や、世界的な金融引き締め等の影響による円安の進行によりエネルギー・原材料価格をはじめ様々な物価が上昇しており、先行きは不透明な状態が続いております。

ホームセンター業界におきましては、依然として激しい競争環境の中、物価上昇を背景とした商品仕入れ価格の高騰、販売費及び一般管理費の増加、例年にない天候不順の影響もあり、厳しい状況で推移しております。

このような状況のもと、当社は、＜「挑戦」～全員参加で地域密着型の安心・安全なインフラ店舗をつくろう～＞を当事業年度のテーマに掲げ、物価や社会情勢、生活様式が激しく変化し、先行きの見通しが難しい中で、変わらず地域のお客様に支持していただける店舗を作る為、全従業員一丸となって取り組んでまいりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の営業収益は153億9千1百万円(前年同期比1.1%減)となりました。営業利益は6億6百万円(同20.0%減)、経常利益は6億3千9百万円(同19.4%減)、四半期純利益は4億4千1百万円(同16.4%減)となりました。

なお、セグメント別の業績は次のとおりであります。

[ホームセンター事業]

ホームセンター事業につきましては、天候不順の影響もあり、売上高は若干の減少となりました。セグメント利益につきましても、物価上昇が進む中、経費削減に努めたものの、前年同期を下回る結果となりました。

この結果、売上高は150億6千4百万円(前年同期比1.2%減)、セグメント利益は4億7千1百万円(同24.8%減)となりました。

[不動産賃貸事業]

不動産賃貸事業につきましては、新たに既存店舗の一部にテナントを誘致した結果、営業収入、セグメント利益とも増加となりました。営業収入は3億2千6百万円(前年同期比4.6%増)、セグメント利益は1億3千4百万円(同2.8%増)となりました。

(2) 財政状態の状況

(資産)

流動資産は、前事業年度末と比べ5億4千3百万円増加し、93億2千7百万円となりました。これは主に、現金及び預金が2億7百万円、棚卸資産が3億6千8百万円増加したこと等によります。

固定資産は、前事業年度末と比べ2千5百万円増加し、97億3千万円となりました。これは主に、差入保証金が1億4百万円減少しましたが、有形固定資産が9千3百万円、無形固定資産が9千1百万円増加したこと等によります。

この結果、資産合計は、前事業年度末と比べて5億6千9百万円増加し、190億5千8百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前事業年度末と比べ9千2百万円増加し、71億6千5百万円となりました。これは主に、その他(未払金)が1億3千9百万円減少しましたが、買掛金が2億3百万円増加したこと等によります。

固定負債は、前事業年度末と比べ1億5千7百万円増加し、9億2千5百万円となりました。これは主に、その他(受入保証金)が2億2千6百万円増加したこと等によります。

この結果、負債合計は、前事業年度末と比べ2億5千万円増加し、80億9千万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前事業年度末と比べ3億1千9百万円増加し、109億6千7百万円となりました。これは主に、利益剰余金が2億8千万円増加したこと等によります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末と比べ2億7百万円増加し10億6千万円となりました。当第2四半期累計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、3億5千1百万円(前年同四半期は、4億4千2百万円の獲得)となりました。これは主に、棚卸資産の増加額が3億6千8百万円ありましたが、税引前四半期純利益が6億3千6百万円、減価償却費が1億7千5百万円あったこと等によります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果獲得した資金は、1千7百万円(前年同四半期は、1億1千2百万円の使用)となりました。これは主に、有形固定資産の取得が2億4百万円、無形固定資産の取得が1億1百万円ありましたが、預り保証金の受入による収入が2億2千9百万円、差入保証金の回収による収入が1億1千3百万円あったこと等によります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、1億6千1百万円(前年同四半期は、4億4千6百万円の使用)となりました。これは主に、配当金の支払額が1億6千1百万円あったこと等によります。

(4) 優先的に対処すべき事業上及び財務上の課題

当第2四半期累計期間において、当社の事業上及び財政上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

(6) 会計上の見積り及び当該見積りに用いた仮定

前事業年度の有価証券報告書に記載した「経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析」中の当社が会計上の見積り及び当該見積りに用いた仮定の記載について重要な変更はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	12,500,000
計	12,500,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (2023年8月20日)	提出日現在 発行数(株) (2023年9月29日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	5,586,150	5,586,150	東京証券取引所 スタンダード市場	単元株式数は100株であります。
計	5,586,150	5,586,150	—	—

(2) 【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2023年 8 月20日	—	5,586,150	—	2,921,525	—	3,558,349

(5) 【大株主の状況】

2023年 8 月20日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 (自己株式を除く。)の総数に対 する所有株式数 の割合(%)
有限会社サウス企画	群馬県高崎市倉賀野町4531— 1	2,507	46.56
セキチュー取引先持株会	群馬県高崎市倉賀野町4531 - 1	534	9.93
アトム総業株式会社	群馬県高崎市並榎町134 - 1	285	5.29
株式会社しまむら	埼玉県さいたま市大宮区北袋町 1 丁目 602 - 1号	275	5.10
関 口 忠 弘	群馬県高崎市	165	3.06
関 口 礼 子	群馬県高崎市	159	2.95
株式会社群馬銀行 (常任代理人 株式会社日本カ ストディ銀行)	群馬県前橋市元総社町194番地 (東京都中央区晴海 1 丁目 8 番12号)	152	2.83
セキチュー従業員持株会	群馬県高崎市倉賀野町4531 - 1	117	2.18
関 口 完	群馬県みどり市	90	1.67
舟 山 弘 子	埼玉県さいたま市	80	1.49
計	-	4,367	81.10

(6) 【議決権の状況】

【発行済株式】

2023年8月20日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式(自己株式等)	—	—	—
議決権制限株式(その他)	—	—	—
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 200,100	—	—
完全議決権株式(その他)	普通株式 5,384,600	53,846	—
単元未満株式	普通株式 1,450	—	1 単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	5,586,150	—	—
総株主の議決権	—	53,846	—

(注)「単元未満株式」欄の普通株式には、当社保有の自己株式92株含まれております。

【自己株式等】

2023年8月20日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社セキチュー	群馬県高崎市倉賀野町 4531 - 1	200,100	—	200,100	3.58
計	—	200,100	—	200,100	3.58

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期財務諸表の作成方法について

当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(2007年内閣府令第63号)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期会計期間(2023年5月21日から2023年8月20日まで)及び第2四半期累計期間(2023年2月21日から2023年8月20日まで)に係る四半期財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

3．四半期連結財務諸表について

当社は、子会社がありませんので、四半期連結財務諸表を作成しておりません。

1 【四半期財務諸表】

(1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年 2月20日)	当第 2 四半期会計期間 (2023年 8月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	853,187	1,060,894
売掛金	857,535	843,370
棚卸資産	6,696,376	7,064,487
その他	376,717	358,916
流動資産合計	8,783,817	9,327,669
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	2,448,016	2,452,263
土地	1,923,243	1,923,243
その他（純額）	757,188	846,221
有形固定資産合計	5,128,448	5,221,728
無形固定資産	257,366	348,510
投資その他の資産		
差入保証金	3,256,777	3,152,070
その他	1,062,645	1,008,509
投資その他の資産合計	4,319,422	4,160,579
固定資産合計	9,705,237	9,730,818
資産合計	18,489,054	19,058,487
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,623,686	4,827,227
短期借入金	900,000	900,000
未払法人税等	142,158	232,019
賞与引当金	78,175	83,817
契約負債	344,220	378,287
資産除去債務	15,254	500
その他	969,229	743,426
流動負債合計	7,072,724	7,165,277
固定負債		
役員退職慰労引当金	53,453	53,453
資産除去債務	363,896	367,248
その他	350,843	504,949
固定負債合計	768,192	925,651
負債合計	7,840,917	8,090,928

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年 2 月20日)	当第 2 四半期会計期間 (2023年 8 月20日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,921,525	2,921,525
資本剰余金	3,558,349	3,558,349
利益剰余金	4,209,563	4,489,692
自己株式	205,931	205,931
株主資本合計	10,483,506	10,763,636
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	164,630	203,922
評価・換算差額等合計	164,630	203,922
純資産合計	10,648,136	10,967,559
負債純資産合計	18,489,054	19,058,487

(2) 【四半期損益計算書】

【第2四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年2月21日 至 2022年8月20日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年2月21日 至 2023年8月20日)
売上高	15,244,763	15,064,385
売上原価	10,604,842	10,551,382
売上総利益	4,639,921	4,513,003
営業収入		
不動産賃貸収入	312,304	326,807
営業総利益	4,952,226	4,839,810
販売費及び一般管理費	4,194,099	4,233,365
営業利益	758,127	606,445
営業外収益		
受取利息	8,326	6,915
受取配当金	6,627	7,289
受取手数料	5,989	5,717
受取保険金	2,487	3,610
その他	14,684	14,672
営業外収益合計	38,114	38,206
営業外費用		
支払利息	2,130	2,062
固定資産除却損	234	3,075
その他	624	422
営業外費用合計	2,990	5,560
経常利益	793,251	639,090
特別損失		
減損損失	15,582	2,646
特別損失合計	15,582	2,646
税引前四半期純利益	777,668	636,444
法人税、住民税及び事業税	240,015	181,116
法人税等調整額	9,591	13,619
法人税等合計	249,606	194,736
四半期純利益	528,061	441,708

(3) 【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年2月21日 至 2022年8月20日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年2月21日 至 2023年8月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	777,668	636,444
減価償却費	181,415	175,193
減損損失	15,582	2,646
貸倒引当金の増減額(は減少)	3,747	—
賞与引当金の増減額(は減少)	7,027	5,642
契約負債の増減額(は減少)	7,527	34,066
解約損失引当金の増減額(は減少)	10,031	—
受取利息及び受取配当金	14,953	14,205
支払利息	2,130	2,062
固定資産除却損	234	3,075
受取保険金	2,487	3,610
売上債権の増減額(は増加)	137,049	14,165
棚卸資産の増減額(は増加)	421,956	368,111
仕入債務の増減額(は減少)	122,414	203,541
未払消費税等の増減額(は減少)	117,070	32,660
その他	144,501	224,154
小計	481,289	434,094
利息及び配当金の受取額	7,318	7,521
利息の支払額	2,130	2,062
保険金の受取額	2,487	3,610
法人税等の支払額	46,531	91,736
営業活動によるキャッシュ・フロー	442,433	351,427
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	220,852	204,955
無形固定資産の取得による支出	388	101,149
有形固定資産の売却による収入	612	1,443
資産除去債務の履行による支出	—	14,754
投資有価証券の取得による支出	2,334	1,798
貸付金の回収による収入	990	990
差入保証金の回収による収入	109,663	113,978
差入保証金の差入による支出	—	2,587
預り保証金の返還による支出	—	3,400
預り保証金の受入による収入	—	229,584
その他	26	2
投資活動によるキャッシュ・フロー	112,282	17,347
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	300,000	—
長期借入金の返済による支出	38,862	—
配当金の支払額	107,732	161,067
財務活動によるキャッシュ・フロー	446,594	161,067
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	116,443	207,707
現金及び現金同等物の期首残高	1,112,657	853,187
現金及び現金同等物の四半期末残高	996,213	1,060,894

【注記事項】

(四半期貸借対照表関係)

棚卸資産の内訳は次のとおりであります。

	前事業年度 (2023年 2月20日)	当第 2 四半期会計期間 (2023年 8月20日)
商品	6,673,669千円	7,046,152千円
貯蔵品	22,706 "	18,335 "
計	6,696,376 "	7,064,487 "

(四半期損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第 2 四半期累計期間 (自 2022年 2月21日 至 2022年 8月20日)	当第 2 四半期累計期間 (自 2023年 2月21日 至 2023年 8月20日)
給料及び手当	1,357,422千円	1,319,282千円
賞与引当金繰入額	82,367 "	83,817 "
退職給付費用	27,526 "	26,640 "
貸倒引当金繰入額	3,747 "	— "
賃借料	1,315,138 "	1,344,867 "
減価償却費	181,415 "	175,193 "

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

	前第 2 四半期累計期間 (自 2022年 2月21日 至 2022年 8月20日)	当第 2 四半期累計期間 (自 2023年 2月21日 至 2023年 8月20日)
現金及び預金	996,213千円	1,060,894千円
預入期間が 3 か月超の定期預金	— "	— "
現金及び現金同等物	996,213千円	1,060,894千円

(株主資本等関係)

前第 2 四半期累計期間(自 2022年 2月21日 至 2022年 8月20日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2022年 5月11日 定時株主総会	普通株式	107,719	20.00	2022年 2月20日	2022年 5月12日	利益剰余金

2. 基準日が当第 2 四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第 2 四半期会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第 2 四半期累計期間(自 2023年 2月21日 至 2023年 8月20日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2023年 5月18日 定時株主総会	普通株式	161,578	30.00	2023年 2月20日	2023年 5月19日	利益剰余金

(注) 1株当たり配当額には、特別配当10円が含まれております。

2. 基準日が当第 2 四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第 2 四半期会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期累計期間(自 2022年2月21日 至 2022年8月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	ホームセンター事業	不動産賃貸事業	
売上高			
D I Y用品	8,211,151	—	8,211,151
家庭用品	4,424,414	—	4,424,414
カー用品・自転車・ レジャー用品	2,347,600	—	2,347,600
その他	261,597	—	261,597
顧客からの契約から生じる収益	15,244,763	—	15,244,763
その他の収益(注1)	—	312,304	312,304
外部顧客への売上高及び営業収入	15,244,763	312,304	15,557,068
計	15,244,763	312,304	15,557,068
セグメント利益(注2)	627,252	130,874	758,127

(注) 1 その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」に基づく賃貸収入等であります。

2 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

当第2四半期累計期間(自 2023年2月21日 至 2023年8月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	ホームセンター事業	不動産賃貸事業	
売上高			
D I Y用品	8,233,461	—	8,233,461
家庭用品	4,189,870	—	4,189,870
カー用品・自転車・ レジャー用品	2,332,475	—	2,332,475
その他	308,577	—	308,577
顧客からの契約から生じる収益	15,064,385	—	15,064,385
その他の収益(注1)	—	326,807	326,807
外部顧客への売上高及び営業収入	15,064,385	326,807	15,391,192
計	15,064,385	326,807	15,391,192
セグメント利益(注2)	471,860	134,584	606,445

(注) 1 その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」に基づく賃貸収入等であります。

2 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。

(1 株当たり情報)

1 株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第 2 四半期累計期間 (自 2022年 2 月21日 至 2022年 8 月20日)	当第 2 四半期累計期間 (自 2023年 2 月21日 至 2023年 8 月20日)
1 株当たり四半期純利益	98円04銭	82円01銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益(千円)	528,061	441,708
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益(千円)	528,061	441,708
普通株式の期中平均株式数(株)	5,385,958	5,385,958

(注) 潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2023年 9 月27日

株式会社 セ キ チ ュ ー
取 締 役 会 御中

有限責任監査法人 ト ー マ ツ
長 野 事 務 所

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 小 堀 一 英

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 張 本 青 波

監査人の結論

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社セキチューの2023年2月21日から2024年2月20日までの第73期事業年度の第2四半期会計期間（2023年5月21日から2023年8月20日まで）及び第2四半期累計期間（2023年2月21日から2023年8月20日まで）に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書、四半期キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社セキチューの2023年8月20日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項が全ての重要な点において認められなかった。

監査人の結論の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューの基準における当監査法人の責任は、「四半期財務諸表の四半期レビューにおける監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

四半期財務諸表に対する経営者及び監査等委員会の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して四半期財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

四半期財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき四半期財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査等委員会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

四半期財務諸表の四半期レビューにおける監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した四半期レビューに基づいて、四半期レビュー報告書において独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に従って、四半期レビューの過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対する質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続を実施する。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。
- ・ 継続企業の前提に関する事項について、重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められると判断した場合には、入手した証拠に基づき、四半期財務諸表において、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、適正に表示されていないと信じさせる事項が認められないかどうか結論付ける。また、継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、四半期レビュー報告書において四半期財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する四半期財務諸表の注記事項が適切でない場合は、四半期財務諸表に対して限定付結論又は否定的結論を表明することが求められている。監査人の結論は、四半期レビュー報告書日までに入手した証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 四半期財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠していないと信じさせる事項が認められないかどうかとともに、関連する注記事項を含めた四半期財務諸表の表示、構成及び内容、並びに四半期財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示していないと信じさせる事項が認められないかどうかを評価する。

監査人は、監査等委員会に対して、計画した四半期レビューの範囲とその実施時期、四半期レビュー上の重要な発見事項について報告を行う。

監査人は、監査等委員会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去するための対応策を講じている場合又は阻害要因を許容可能な水準にまで軽減するためのセーフガードを適用している場合はその内容について報告を行う。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- (注) 1. 上記の四半期レビュー報告書の原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。